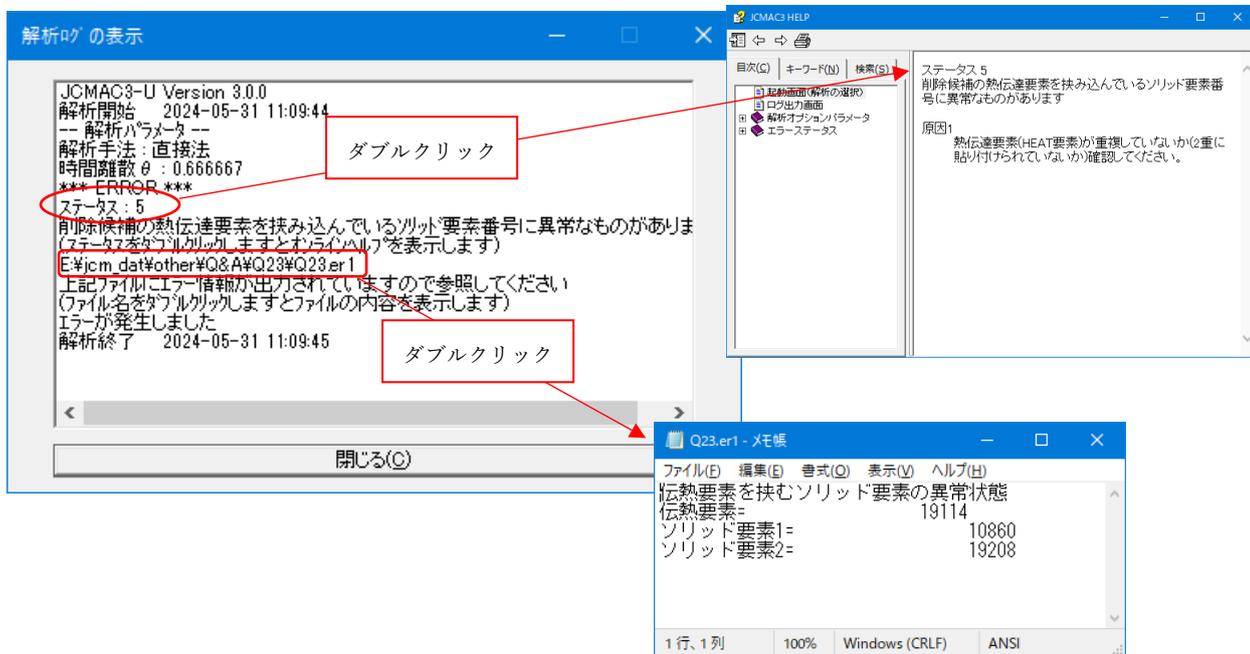


解析エラーの確認

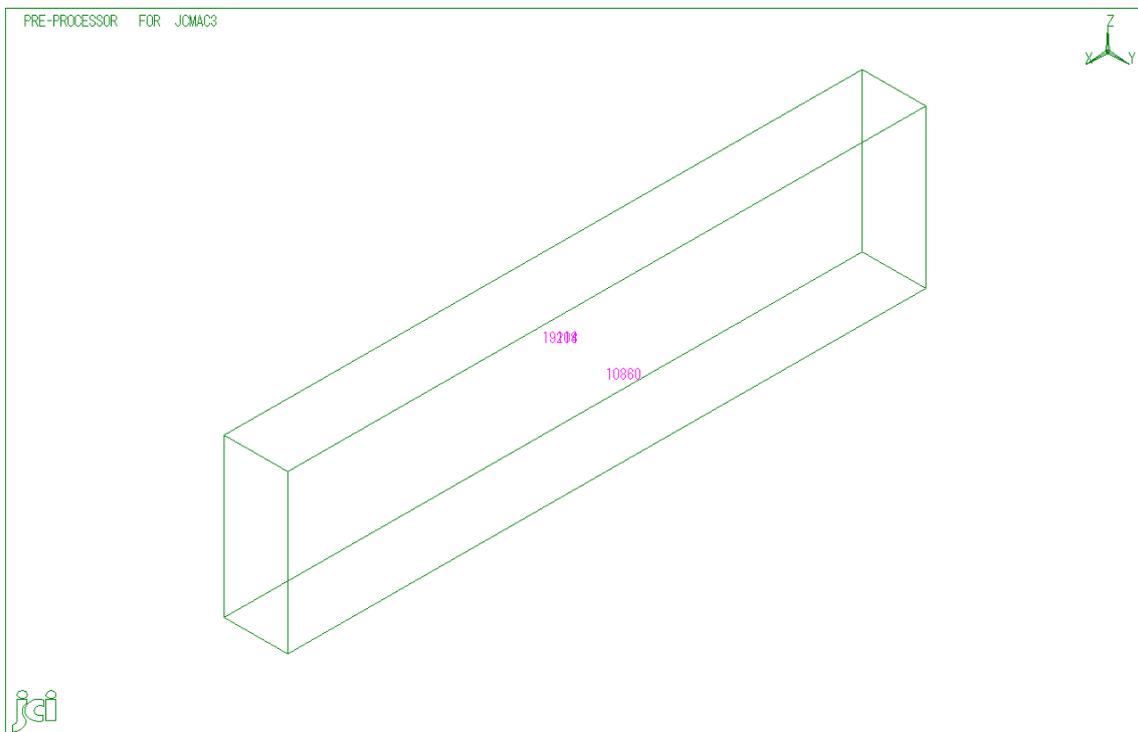
解析エラーが発生した場合、ヘルプ、およびエラー情報ファイルを参照して原因を調査します。

解析ログ表示画面からステータスの行をダブルクリックするとヘルプ画面が表示されます。

エラー情報ファイル名の行をダブルクリックするとメモ帳でエラー情報ファイルを開きます（エラー情報ファイルはモデルと同じフォルダに拡張子 er1 で作成されています）。

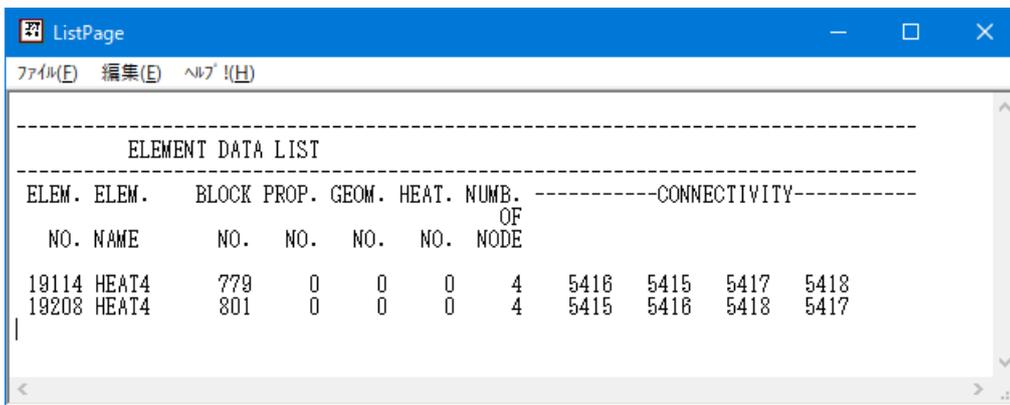


FEMIS でエラー情報ファイルに出力されていた要素を描画範囲選択で選択して表示します。



要素番号を表示したところ番号が重複して描画されました。

[情報]-[リスト]で重複している番号の要素リストを出力します。

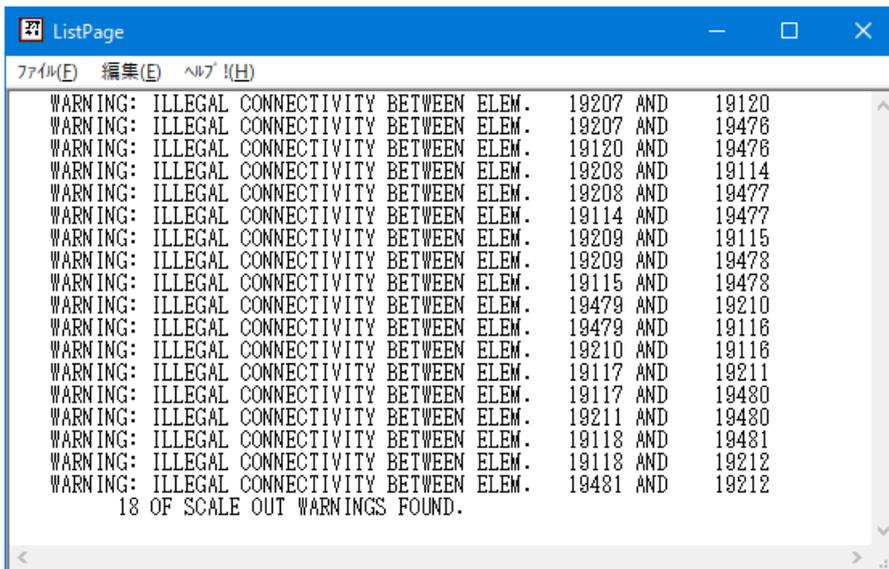


両要素とも熱伝達要素 (HEAT4) であり、構成節点が (順番は違っていますが) 同一になっていることから重複していることが分かります。

【参考】外形図による確認

外形図の描画で異常形状や正しくない要素接合などを見つけることができます (ToolBox 左列 3 段目外形図ボタン)。解析を実行する前にこの機能でモデルを確認することをお勧めします。

リストページにログが表示されますので、該当要素を描画範囲選択で選択して調査、必要に応じて (外形図で警告が出なくなるまで) 修正を行ってください。



重複要素の修正は[変更]-[チェック]の「チェック内容；重複要素」で「修正を行う」にチェックを入れて実行します。

ここで注意が必要なのが、重複要素のうち要素番号の大きい方が削除されるので、重複位置で解析条件が番号の大きい方にしか設定されていなかった場合、その部分の条件が未設定になります。必ず条件設定を確認してください。

以上